学校だより 三年先の稽古

発行：校長　益子　朗

コロナだけでなく 風邪・インフルエンザにもご注意を！

先日から、保護者のご皆さんにご理解とご協力をお願いしました、インフルエンザの予防接種の実施状況について調べました。

新型コロナウイルス感染症の陰に隠れて忘れがちですが、インフルエンザが流行する時期です（昨年の今頃は、毎日５名以上の出席停止がありました）。

予防接種は義務ではなく、また接種しても感染することが重症化を防ぐ効果があるそうですが、世界では新型コロナウイルス感染症のワクチンが話題になっていますが、大切な受験を控えた３年生を抱える中学校としては、インフルエンザに感染しないことも流行させないことは、感染症を防ぐ効果があるようです。

今後もお願いします。

インフルエンザ予防接種の実施状況
（１２／１０現在）

接種した生徒	５７名
これから接種する生徒	２１名
未定・不明の生徒	３４名

校是「三年先の稽古」

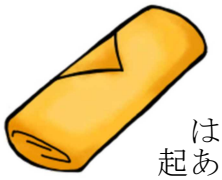
○みんなが行きたくなる学校
○「現場力」「本番力」を磨く学校
○地域に支えられ地域を支える学校

ある日の給食から

※現在はこのように向かい合っては食べていません。あくまでもイメージです。

生徒にとって（先生方も）学校生活の中で給食はとても楽しみな時間だと思います。毎日わくわくしながら待っている腹ぺこさんも多いでしょう（コロナ危機が去って楽しく会話をしながら食べられるようになったらもっと楽しいのですが・・・）。

先日、こんなハプニングがありました。給食センターで、調理中に機械のトラブルで、１クラス分だけ主菜の「鶏つくねチーズ焼き」が作れなくなってしまったそうです。すぐにセンターから学校に連絡があり、１クラスだけ「春巻き」に変更してほしいとのことでした。冷凍のストックがあったとのこと（たまたま）。そこで、○年○組だけ、急きょ主菜が変更になりました。こうしたトラブルはあってほしくはありませんが、万が一起こってしまったら、どう対応するかが問題です。すぐに使用できる食材を探し対応してくれたセンターの調理員の皆さんには本当に感謝です。



「現場力」

これこそ本校が目指している、特にコロナ危機のない今年度は、大きな方法でできなくなったことがあります。「できなくなんとか」するのか、それとも別の方法でやるか。差は、今回は給食センターの対応からでした。

教員も学ぶところがありました。

「三色そぼろご飯の具・落下事件」

給食当番が、配膳室から教室に運ぶ途中、誤って食缶を落とし、１クラス分のそぼろが廊下に散乱して、だめになってしまいました。

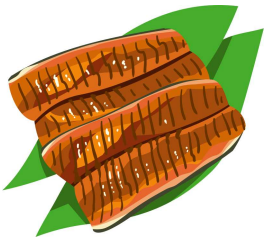
この時は栄養士さんが急きょ「ゆかりごはんの素」を持ってきてくれました。

「ウズラの卵数 クラスの人数事件」

「おでん煮」の具のウズラの卵が１クラスだけ極端に少なく、人数の半分くらいしかなかったので、この時は、担任の先生が卵を半分に切って、全員に行き渡るようにしました。

「さんまの蒲焼きが白焼きだった事件」

甘辛いタレがおいしいさんまの蒲焼きに、なぜかタレがかかっていなかったことがありました。おこの時は、職員室にいた先生が、おしょうゆを持ってきてくれました。



これらのアクセントは、誰かが救ってくれたのです。

ピンチの時は、ピンチにも、生徒の皆さんに突然のピンチ。何とかおいしい給食を食べさせようと頑張ってくれた皆さんに感謝の気持ちを忘れてはなりません。

食缶を落とし、同時にこれらの生徒は非難したり、センターに文句を言ったりするどころか、大信中学校の生徒の姿も大変帯感が、みんなで同じ物を食べる喜びや連帯感が、ピンチの給食をご馳走に変えたのです。

シンプルなこれこそ本当に感謝です。

ばらばらの数のみんなが足りなくなってしまったお醤油を合って、タレがなければかけて・・・。

表彰おめでとう

☆漢字検定３級合格
小山大吾　菊池椿姫
伊藤さくら　鈴木美和　藤島美優

☆白河市協会長杯バレーボール大会
第２位（泉崎中と合同チーム）
吉川マリン　北野修果
十文字しずく　大橋瑛麻

☆東西しらかわ中学校造形作品展
美峰賞　３名
金賞　６名　入賞15名

☆福島県造形秀作審査会・特選
上田佳歩　塚野遼祐　塩田ひかり

※造形展の作品は本紙第43号に掲載されています。